

令和7年6月定例会一般質問通告一覧表

<6月10日（火曜日）質問者>

通告順1 五十嵐 良 一 議員 【分割質問】



長岡令和クラブ：3期
山古志虫亀

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

- (1) 県民投票条例案の否決結果について
 - ① 知事の言う反対理由の二者択一に課題があることへの見解と、署名全体が14万人以上となり、長岡市民でも1万9,056筆にも上った署名による県民投票条例案が否決されたことに対する考えを伺う。
- (2) 国の緊急時対応及び県の被曝線量シミュレーションについて
 - ① 国の緊急時対応について、特に大雪時の対応と、その内容が市として了承すべきものとなっているのか伺う。
 - ② 県の被曝線量シミュレーションの公表結果について、実務担当者会議での説明や質疑を踏まえて見えた課題や、今後必要となるシミュレーションとはどういうものか伺う。
- (3) 県知事による市町村長との対話について
 - ① 知事に対し、再稼働問題に対する市長の思いをどのように伝えるのか伺う。
 - ② 市長は「市民に説明し納得と理解を得るプロセスをどう考えているのか、直接知事の考えを聞きたい」と会見で述べているが、今後、知事はどのように進めていくべきか考えを伺う。
- (4) 市議会への説明と議論の必要性について
 - ① 市議会においても、しっかりと説明を受けた上で議論をしていかなければ間に合わない。今からしっかりと市議会側の理解と再稼働問題への議論を定期的に行い、県知事との対話に生かすべきと思うが、考えを伺う。

2 子育て中の方が働きやすい職場環境について

- (1) 市内企業の男性育休取得状況について
 - ① 市内企業の男性育休取得状況についての情報を伺う。
- (2) ながおか働き方プラス応援プロジェクトの取組について
 - ① 企業が仕事と育児を両立できる職場環境をつくることを支援するため、ながおか働き方プラス応援プロジェクトにおいてどのような取組をしているか伺う。



共産党市議団：2期
寿1

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

(1) 県民投票条例について

- ① 県議会では条例案否決となったが、市長の受け止めを伺う。

(2) 知事が行う再稼働の意見聴取について

- ① 知事の意見聴取にどのような考えで臨むのか、また、市民アンケートなどを実施し、再稼働への市民の意思を把握した上で臨むべきと考えるが、市長の考えを伺う。
- ② U P Zの首長の意見は知事もしっかりと受け止めるべきと思うが、市の考えを伺う。
- ③ 県民アンケートを行うなど、再稼働の県民の意思を幅広くつかむことを県に求めるべきと思うが、市の考えを伺う。

(3) 県の被曝線量シミュレーションについて

- ① 県のシミュレーションに対する本市の受け止めを伺う。

(4) 緊急時対応について

- ① 内閣府の緊急時対応に対する本市の受け止めと今後の対応について伺う。

2 市内企業への支援について

(1) トランプ関税による影響等に対する市内企業支援について

- ① 市としてどのような影響があるか調査を行い、必要な対策を取るべきと思うが、市の考えを伺う。
- ② 国に必要な対策を打つよう求めるべきと思うが、市の考えを伺う。

3 磁気ループについて

(1) 磁気ループの導入拡大と活用について

- ① 民間施設等が磁気ループを導入しようとするときに、経費の一部を補助するなどの支援策を検討すべきと思うが、市の考えを伺う。
- ② 磁気ループの保有施設の拡大を行っていくべきであり、当面は市が保有する備品の貸出し等を行い利便性の向上を図るべきと思うが、市の考えを伺う。



市民クラブ：2期
与板町与板

1 中心市街地活性化基本計画と次期総合計画による 今後のまちづくりについて

- (1) 中心市街地活性化のこれまでの成果と今後の展望について
 - ① 第1期から第3期までの取組の成果と課題について、どのように認識しているか伺う。
 - ② 「まちなかに人を呼び戻す」「若者や子育て世代が住み続けられるまちにしてほしい」といった市民の声に対し、第4期計画において市としてどのように応えていこうとしているのか伺う。
- (2) 若者や子育て世代の定住・居住促進について
 - ① 第4期計画における定住・居住促進の取組について、どのように展開していくのか伺う。
 - ② 住宅供給支援、子育て支援、生活利便性向上に向けた具体的な施策の充実について、市の考えを伺う。
- (3) 新たな拠点・ミライエ長岡東館の活用と民間・市民参加について
 - ① 拠点整備後の利活用に向け、多様な主体の参画を促すための仕組み・環境整備について伺う。
 - ② 市民や若者が新たな挑戦に踏み出しやすいまちづくりの推進に向けた市の考えを伺う。
- (4) 次期総合計画と中心市街地活性化基本計画の一体的推進による持続可能なまちづくりについて
 - ① 中心市街地活性化基本計画との整合性・連携をどのように確保し、一体的なまちづくりを進めるのか、市の基本的な考えを伺う。
 - ② 中心市街地の取組を各地域へ展開するに当たっての構想や方針について伺う。

2 持続可能な水道事業の在り方について

- (1) 懇話会の検討結果について
 - ① 持続可能な長岡水道のあり方に関する懇話会を設置した経緯、検討の内容及び結果について伺う。
- (2) 水道の現状と課題について
 - ① 浄配水施設や水道管路の老朽化や更新の状況、今後の見通しについて伺う。
 - ② 水道施設の老朽化に伴うリスクと対応上の課題について伺う。
 - ③ 妙見浄水場給水区域拡大事業の概要、事業効果及び進捗状況を伺う。
 - ④ 水道経営に係る今後の収支の見通しについて伺う。
- (3) 水道持続化に向けた対策の方向性について
 - ① 水道施設の老朽化にどのように対応していくか伺う。
 - ② 水道を持続するためには着実に更新事業を進める必要があるが、今後、更新事業に要する財源をどのように確保していくか伺う。
 - ③ 市民への十分な情報発信が必要と考えるが、市の認識と今後の対応について伺う。



長岡令和クラブ：1期
十日町

1 共生社会の実現に向けた特別支援教育と放課後支援の 在り方について

(1) 特別支援教育の今後の方向性と課題について

- ① 本市の総合支援学校について、学級数や児童・生徒数の推移などどのように変化してきているのか、近年の傾向なども踏まえて現状を伺う。
- ② 本市の考える特別支援教育の在り方について、方向性や展望も含めて伺う。
- ③ 市は「自立」をどのように定義し、その定義を保護者・本人とどのように共有し、どのように理解の一致を確認しているのか、実際の運用と併せて伺う。

(2) 放課後支援体制について

- ① 民間委託後の児童クラブにおいて、配慮を要する児童の受入れは実際にどの程度行われており、どのような配慮が現場で実施されているのか。現状の運用と委託開始後の変化について具体的に伺う。
- ② 児童クラブの委託開始に伴い退職した職員も出たとの情報があるが、現状と、市として人材確保と育成にどのように取り組んでいくのか方針を伺う。
- ③ 配慮を要する児童への支援が必要なクラブにおいては、国の職員配置基準では人員不足のように感じるが、追加人員の配置など、実態に応じた対応が行われているのか伺う。
- ④ 放課後等デイサービスにおける利用実態や地域偏在、送迎体制などをどのように把握し、保護者への情報提供や事業所との連携をどのように図っているのか伺う。
- ⑤ 配慮を要する児童の放課後支援について、現状と今後の方向性を伺う。

通告順5 笠井則雄議員 【一括質問】



共産党市議団：7期
三和2

1 長岡空襲80年における平和への取組について

- (1) 長岡市平和祈念式典について
 - ① 80年節目の年にふさわしい企画について伺う。
 - ② 新潟県知事に長岡市平和祈念式典への案内を出すべきと思うが、市の考えを伺う。
- (2) 長岡空襲80年の特別企画について
 - ① 特別展と長岡空襲殉難者追慕の集いなどの事業内容・周知方法について伺う。
 - ② 大石芳野写真展の経緯と周知方法について伺う。
- (3) 移転後の戦災資料館について
 - ① 遺影展示室内に長岡空襲殉難者名簿も併設展示するのか等を伺う。
 - ② 芝生広場の狙いと樹木を生かした暑さ対策などについて伺う。

2 医療・介護保険の諸課題について

- (1) 地域医療の危機から住民を守ることにについて
 - ① 日本医師会・6病院団体合同声明に対する見解、また同趣旨の要望を国に行うべきと考えるが、市の考えを伺う。
 - ② 県立病院の機能・規模の適正化の取組で、県精神医療センターは他病院との統合を含めた見直しが計画されていると報道されているが、市は承知しているか伺う。
 - ③ 全県の厚生連病院に対する支援内容、また当市における本年度の救急医療体制維持等のための基幹3病院に対する支援内容を伺う。
 - ④ 今後の支援体制について伺う。
- (2) 介護保険の課題について
 - ① ケアマネジャー不足に対する対応策、また県内の居宅介護支援事業所が減少しているが実態を伺う。
 - ② 介護報酬引上げ及び介護職員の処遇改善に対する市の認識、また全国知事会の国への緊急要望書についても認識を伺う。
 - ③ 村上市の基本報酬引下げによる減収分補填支援と、当市の対応策について伺う。
 - ④ 介護保険の財政構造の抜本的な見直しが必要と考えるが、見解を伺う。

3 困難な問題を抱える女性支援について

- (1) 困難な問題を抱える女性支援基本計画について
 - ① 基本計画の狙いと第3次ながおか男女共同参画基本計画の関連を伺う。
 - ② 計画案に対するパブリックコメントの状況及び改善案を伺う。
 - ③ 女性支援基本計画に付加した主な内容について伺う。
- (2) 困難な問題を抱える女性支援基本計画の実効性について
 - ① 進捗管理の実効性確保のための庁内組織について伺う。
 - ② 進捗管理の見直しを必要とする項目についての対応策を伺う。
- (3) 女性相談支援員の処遇改善について
 - ① 女性支援の中核を担う女性相談支援員の処遇改善の必要性について伺う。

4 スポーツ施設の整備について

- (1) 旧悠久山プールの大規模改修について
 - ① 屋内運動施設として改修されるが、改修目的と事業内容について伺う。
- (2) 長岡市営陸上競技場の整備について
 - ① 陸上競技場の経過年数とスタンドなど構造物の耐用年数を伺う。
 - ② 冬期間等室内練習場として使えるウォーミングアップ場の設置とトイレなど水回りの改修について伺う。

通告順6 池田明弘議員 【分割質問】

1 戦災資料館のリニューアルについて

- (1) 「平和」の概念を「平和学」の観点から捉えた展示の導入について
 - ① 長岡空襲の展示に加え、貧困、差別、環境破壊など人々の尊厳や生命を脅かす社会の仕組みも含めた非平和に関する展示の追加を検討すべきと考えるが、見解を伺う。
- (2) 来館者の主体的な学びを促す展示手法について
 - ① 来館者が自ら考え、議論し、行動することを促せるような参加型の展示の工夫についての考えを伺う。
- (3) 多角的学習のための資料・情報提供の充実について
 - ① 平和学も含め関連する書籍や論文、紛争解決事例集、ドキュメンタリー映像など、多様な学習資源を提供できるコーナー設置について伺う。
 - ② 資料館に足を運べない市民や、遠隔地からの学習者にも対応できるよう、展示の一部や関連情報をオンラインで公開する体制について伺う。
- (4) 地域連携・国際連携の強化について
 - ① 市内の小・中学校、高校、大学、各種団体等との連携を強化し、平和学習のプラットフォームとしての役割や、国内外の平和関連施設との連携も視野に入れるべきと考えるが、市の考えを伺う。
- (5) 長岡戦災資料館のリニューアルに向けた思いについて
 - ① 長岡戦災資料館が、「過去の悲劇を語り継ぐ場」ととどまらず、「未来に向けた平和を創造する拠点」へと深化することを期待するが、市の見解を伺う。



長岡市公明党：3期
青葉台4

2 不育症支援について

(1) 不育症支援の必要性と現状認識について

- ① 不育症で悩む夫婦の現状に対する認識を伺う。

(2) 不妊治療費助成事業と不育症治療支援の連携・一体化について

- ① 現在実施している不妊治療費助成事業に加えて不育症治療費助成事業を導入し一体的に運用することで「子どもを産み育てたい」という願いへ、より包括的な支援体制が構築できると考えるが、見解を伺う。
- ② 不育症治療費支援の導入に向けた具体的な検討を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

3 市の車両の一元管理による地域公共交通の課題解決について

(1) スクールバスをはじめとする市管理車両の現状と課題について

- ① 現在、本市が管理しているスクールバスの具体的な台数、運行状況、維持管理費用について伺う。
- ② スクールバス以外の市管理車両についても、その活用状況と、部署間の連携における課題認識について伺う。

(2) 市管理車両の一元管理体制の検討状況について

- ① 国からの通知を受け、スクールバスの多目的利用や地域住民との共用運行について、これまでどのような検討がなされてきたのか、その進捗状況と課題認識について伺う。
- ② スクールバスを含む市管理の全車両を、一元的に管理・運用する体制を構築することについて、市としてどのように考えているのか伺う。

(3) 地域公共交通の課題解決に向けた対応について

- ① スクールバスについて、通学時間帯以外に、通院、買い物、地域活動など、市民の多様なニーズに対応できる運行モデルを検討する意向はあるか伺う。
- ② スクールバスを地域公共交通施策の視点から見直すことについて見解を伺う。

(4) 運転手の確保について

- ① スクールバスなどを地域公共交通に活用するためには運転手の確保が大きな課題である。運転手の確保施策の必要性に対する認識と今後の方向性について見解を伺う。



共産党市議団：1期
北荷頃

1 国の米価高騰問題と長岡市が見据える地域農業について

(1) 国の米価高騰問題について

- ① 消費者と生産者が互いにウィン・ウィンになるような米の需給バランスについて、考えを伺う。
- ② 政府備蓄米の放出と消費者米価についての見解を伺う。
- ③ 10年前と現在を比較した長岡市の米農家や農業の担い手、農地面積の状況について伺う。
- ④ 所得補償・価格保障制度の確立を政府に強く求めているが、考えを伺う。

(2) 長岡市が見据える地域農業について

- ① 長岡市スマートアグリ推進事業補助金、スマート施設園芸、多様なニーズに応えるコメ生産拡大支援事業補助金の内容と取組について伺う。
- ② スマートアグリを推進する農業者に対し、今後どのように支援を進めていくか伺う。
- ③ 最新の市内における地域計画の策定状況について伺う。

2 物価高騰対策について

(1) 消費税の減税について

- ① 国に対し消費税の5%減税実施を強く求めるべきと思うが、考えを伺う。

(2) 市民生活緊急支援策について

- ① 全世帯と子ども食堂へお米券を配布していただきたいと思うが、考えを伺う。
- ② 高齢者・子育て・ひとり親世帯等を対象に、電気・ガス・ガソリン代の補助を実施していただきたいと思うが、考えを伺う。
- ③ 国民健康保険料を1世帯につき年1万円減額していただきたいと思うが、考えを伺う。

(3) 手の届きにくい医療機関等へのエネルギー支援について

- ① 介護・障害者・高齢者施設、医療機関等に対し、ガソリン代や光熱水費等の財政支援を行っていただきたいと思うが、考えを伺う。



市民クラブ：2期
谷内 2

1 空き家等の対策について

(1) 空き家等の現状、対応について

- ① 長岡市の空き家件数、空き家率、推移の傾向を伺う。
- ② 住民からの空き家に対する通報件数と対応状況を伺う。
- ③ 今年2月の大雪による市内の空き家の倒壊状況を伺う。
- ④ 空き家にしない、空き家になっても適正な管理を促進させるための啓発活動として実施する空き家セミナー、相談会の現状を伺う。

(2) 空き家の活用について

- ① 長岡市空き家バンクの登録件数と成約の現状、また地域別の各件数等について伺う。
- ② 空き家バンク活用促進の補助事業を実施しているが、さらなる促進を図る事業の拡充や、新たな補助事業、例えば若者向けの空き家リフォーム補助金の創設など、市の考えを伺う。

(3) 老朽空き家の処分について

- ① 市では、町内会等が倒壊などのおそれがある空き家を除却し、跡地を地域活性化のために使用する場合、長岡市空き家対策総合支援事業で解体費の一部を補助している。解体費用は上昇しており、補助上限の増額を行う必要があると考えるが、市の考えを伺う。
- ② 解体により固定資産税額が約6倍に増加することが、解体をためらう要因の1つと感じている。県内には、一定期間、解体後の更地に係る税額と住宅用地特例の適用があるとみなした税額の差額を減免している市もある。このように、土地を売却する期間の猶予が生まれることで、解体の促進を図れると思うが、市の考えを伺う。
- ③ 今年2月の大雪により、予期しない空き家の倒壊が発生した。こういったケースにおいて、解体に至るまでのプロセスを伺う。

(4) 空き家等に関する相談窓口について

- ① 増加していく空き家問題については、民間業者との連携をさらに緊密にし、取り組むことが重要と考えるが、現状と課題について伺う。

2 国道289号八十里越の開通に向けた取組について

(1) 国が実施している事業について

- ① 事業全体の進捗状況と開通の見通しについて伺う。

(2) 国道289号から栃尾地域にアクセスする現道のネック箇所の対策状況について

- ① 国道290号、国道351号、県道栃尾巻線におけるネック箇所の対策状況について伺う。

(3) 八十里越の開通に係る栃尾の魅力発信構想について

- ① 基本構想策定の狙いについて伺う。
- ② 本構想の事業方針と今年度の取組について伺う。

(4) 八十里越の開通に向けた長岡市の広域観光について

- ① 栃尾地域にとどまらず、長岡全体の広域観光へのよいチャンスと考えるが、市の考えを伺う。

1 子どもを守る性教育と支援の在り方について

(1) 市内における性教育の現状について

① 市内保育施設、小・中学校における性教育の現状について伺う。

(2) 性の健康講座について

① 昨年度から人権・男女共同参画課で性の健康講座を実施しているが、この講座が開始された背景や課題認識、実績や課題、実際に保育施設、学校などで制度を利用された方の声を伺う。

② 外部講師を希望する学校が性の健康講座を実施できるよう、支援を拡充すべきと考えるが、市の考えを伺う。

(3) 学校における性教育について

① 性教育の在り方における市の考えを伺う。

② 性教育をネットリテラシーと切り離して考えるのではなく、横断的な教育が必要であると考えるが、市の考えを伺う。

(4) プレコンセプションケアについて

① プレコンセプションケアについて市内へ啓発していくことが必要であると考えるが、市の考えを伺う。

② ユース世代が気軽に相談できるよう、ユースクリニックの設置に向けて検討を始めるべきであると考えるが、市の考えを伺う。



長岡令和クラブ：1期
鉢伏町



無所属：1期
悠久町1

1 次期持続可能な行財政運営プランにおける情報公開について

(1) 情報公開の手法と考え方について

- ① 持続可能な行財政推進本部を立ち上げた背景について、市の認識を伺う。
- ② 費用対効果も含めて検証する必要があるが、市の見解を伺う。
- ③ 検討する際に用いられるデータは、公開することで透明性と信頼性を高めることにつながれると考えるが、市の見解を伺う。
- ④ 継続する事業も含めてデータを公開しなければプロセスの妥当性が評価できないと考えるが、市の認識を伺う。
- ⑤ 全てのデータを公表することで市民の信頼を得たほうがよいと考えるが、市の認識を伺う。
- ⑥ 評価をする際に用いられたデータを公開することで市民からの信頼も得られると考えるが、市の認識を伺う。
- ⑦ データを公開する際には事業を実施するに当たって考慮すべき大切な要素も公開するか伺う。
- ⑧ 行革プランには収支改善目標が設定されるか伺う。
- ⑨ 行政事業レビュー見える化サイトを参考にしたプラットフォームを立ち上げてデータの公開をすることは、より透明性の高い市政運営の実現につながると考えるが、市の見解を伺う。

2 街路樹の管理について

(1) 剪定や落ち葉の処理について

- ① 剪定や落ち葉の処理について、市が現在実施している対策を伺う。
- ② 優先順位を高めてできるだけ早く対応するべきと考えるが、市の認識を伺う。

3 効率的な経済政策について

(1) 政府支出及び減税が及ぼす経済効果について

- ① 法人市民税の法人税割の増税をやめて、標準税率まで下げることが妥当と考えるが、市の考えを伺う。



無所属：3期
小国町新町

1 指定管理者制度の見直しについて

- (1) 制度導入からの総括について
 - ① 制度導入からこれまでの効果と課題について伺う。
- (2) 制度所管部局と施設所管部局の役割と連携について
 - ① 両部局間の連携体制と役割分担の現状について伺う。
 - ② 連携不足による支障がないようにするための対応について伺う。
- (3) 受託者との関係性と支援体制について
 - ① 指定管理者との定期的な意見交換や課題共有の仕組みについて伺う。
 - ② 受託者からの改善要望に対する対応について伺う。
- (4) 制度運用の柔軟性の確保について
 - ① 施設ごとの特性を踏まえた運用について伺う。
- (5) 各施設運営の検証・評価体制について
 - ① 指定管理者の検証や評価について伺う。
 - ② 第三者評価や市民の意見を反映する仕組みについて伺う。
- (6) 今後の制度見直しと運用ガイドラインの改定について
 - ① 制度自体の見直しや、市のガイドラインの改定について伺う。
- (7) 他自治体の具体策について
 - ① 指定管理者制度における賃金スライド制度の導入について伺う。
 - ② 施設利用料を指定管理者の収入とする方式を採用していることについて伺う。

2 長岡市過疎地域持続的発展計画について

- (1) 現行計画が策定された経緯と背景について
 - ① 本計画を策定するに至った背景と、どのような地域課題を重視してこの計画が構築されたのか伺う。
- (2) 計画の実効性と評価について
 - ① 実施された主な事業について、その実績と評価を伺う。
- (3) 地域間格差の拡大防止策と住民ニーズの反映について
 - ① 全部過疎市町村と一部過疎地域を有する市町村の支援策の相違について伺う。
 - ② 計画策定時と現在における住民ニーズの変化をどのように計画に反映させているのかを伺う。
- (4) 計画見直しの方針と今後のスケジュールについて
 - ① 計画見直しに向けた市の方針とビジョンについて伺う。
 - ② 市民意見を反映させるためのプロセスについて伺う。
 - ③ 計画策定のスケジュールについて伺う。



無所属：7 期
信濃 2

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

(1) 再稼働に関する今後の見通し等について

- ① 知事が再稼働の是非を判断するに当たり、県民の受け止めを見極めるために市町村長との対話や公聴会等を開催する段階に入った。来年の知事選で県民の信が問われる可能性も高まっているようだが、市としてどのようなスケジュール感を持っているのかを伺う。
- ② 安全協定の法的位置づけ、知事による市町村長の意見聴取方法、国が早急に対応すべき 4 項目など、市の要望が実現していない状況への危機感について伺う。

(2) 事故を想定した被曝線量に関するシミュレーションについて

- ① 県は重大事故が起きた場合の被曝線量予測を公表し、半径 5 ～ 30 キロメートル圏では住民が屋外にい続けても基準を超えることはないとの結果であった。これに対し市長は「国や東電が福島のような過酷事故があり得ないと断言できるなら、首都圏に原発を造ってもよいのではないか」、「万が一でも福島並みの過酷事故が起きる可能性があるのなら、それも想定した第 2 段階のシミュレーションとして公表すべき」との見解を示した。

市長は国・県、東電は過酷事故があり得ないと断言しているように感じているのか。また、市長は福島並みの過酷事故が起きる可能性があるとの認識か伺う。

- ② 福島原発事故並みのシミュレーションを県に要求すべきだが、市の考えを伺う。

(3) 知事との首長懇談会について

- ① 知事が県民の意向を把握する手段の 1 つである首長懇談会が始まり、市長も参加予定である。市長は現時点では再稼働に反対と述べるのかも含め、何を伝えようと考えているのか伺う。
- ② これまでの市の答弁を踏まえると、懇談会では市町村の最終判断を聞く機会確保の確認、長岡市の再稼働の是非に対する判断に従ってもらふ確約、及び知事選を行う確約を取るべきであるが、考えを伺う。

(4) 市民への対応について

- ① 市民の思いの把握方法として、市主催の説明会やアンケートを行う予定はなく、国や県の説明会での市民の声を踏まえて市議会の意見を聞く方針を示してきた。市として直接市民の意見を聞くことについて、市長は記者会見で「その余地はある」と述べたが、これまでの答弁が変わった理由を伺う。
- ② 直接市民の意見を聞く条件や目的を伺う。
- ③ 「市民の不安が解消されない限り、原発は再稼働すべきでない」との市長公約から、市主催の説明会を開催することは当然と思われるが、方針を伺う。

(5) 市が要求する 4 項目について

- ① 市長は再稼働議論を始めるための大前提として、国が早急に対応すべき 4 項目を示したが、その後、4 項目にゼロ回答の場合でも受け入れられるか議論するとの答弁があった。4 項目に対応がなされない状況で市が再稼働に賛成することもあるのか伺う。

(6) 東京電力について

- ① 市が東電に事前了解権付の安全協定を求めても、再稼働のハードルが上がるとの理由で応じないと見込まれるように、再稼働に前のめりで不祥事が絶えない東電に対する市の評価を伺う。



市民クラブ：1期
長倉 1

1 農業政策について

- (1) 米の需給と価格の安定について
 - ① 米の価格に対する認識と需給のバランスについて市の考えを伺う。
- (2) 米不足を解消するための取組について
 - ① 異常気象による作物被害の現状と市の考えについて伺う。
 - ② 担い手不足対策について市の考えを伺う。

2 持続可能な行財政について

- (1) 指定管理者が抱えている課題について
 - ① 物価高騰を加味した指定管理料の算出について市の考えを伺う。
 - ② 指定管理者のモチベーションの維持向上と料金改定に関する市の考えを伺う。
 - ③ 公共施設の見直しについて市の考えを伺う。
- (2) 収入を増やす方法について
 - ① 財政を支える収入について市の考えを伺う。